

# 愛知県主催「ふるさと美農里体感事業」レンコン掘り大会に 愛知県農業土木測量設計技術研究会参加



十一月十一日(日)に、愛西市のレンコンセンターに隣接したレンコン畑でふるさと美農里(みのり)体感事業の第二弾として「レンコン掘り大会」が開催されました。本大会は、多くの小学生とその保護者の方に楽しみながら農地の働きを実感していただくと共に、農地が持つ多面的機能や、水と土が果たす役割の大切さを県民の皆さんにご理解いただくことを目的として実施されました。

当研究会では、本大会に対し「クイズラリーへの出題」や「測量実体験コーナーの開設」により、ゲームや測量機器の展示を通じて、多くの小学生やその保護者の方々に測量への理解を深めて頂きました。(右写真/泥だらけになりながらレンコンを掘る子供たち)

## 勉強会及び技術研修会開催

〈農地・水・環境保全  
向上対策について〉

十月三日に水士里ネット愛知さんの大会議室をお借りしまして、今後の農業農村整備事業の新たな方向性を見いだすことを目的として来年度からの実施が予定されております「農地・水・環境保全向上対策」について当研究会の各社社員を対象として勉強会を開催いたしました。

講師として、同事業の推進に対し最前線でご奮闘頂いております松下農地計画課長をお招きし、施策の内容を始め、現在の進捗状況等、具体的にご説明頂きました。また、講演に先立ちまして水士里ネット愛知の田中専務理事より実務上の課題等も併せてご説明頂きました。

〈環境に配慮した  
設計について〉

十月十七日に県職員の方もお招きし、近年、設計を行うにあたっては不可避となっている環境に対する配慮につきましての技術研修会を左記の内容にて開催いたしました。

本研修会は環境への大きな関心を背景に百五十名を超える多くの技術者の方々にご参加頂きました。

「農山村環境を  
再生する計画づくり」

岐阜大学応用生物科学部

松本康夫 教授

「環境との調和に配慮した  
事業実施のための調査計画・  
設計の技術指針(案)について」

東海農政局農村計画部

佐藤 徹 係長

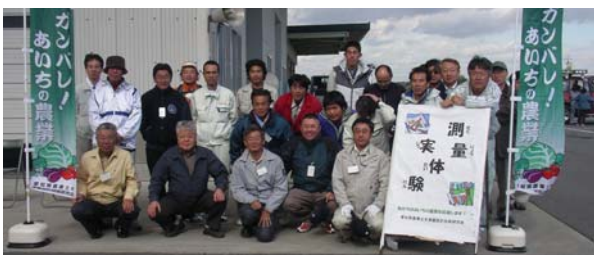


(上写真)オートレベルを覗き、  
クイズの答えを懸命に探す小学生たち。

(下写真)光波測距儀を用い、自分の10歩の距離を測定する子供達。今回は、測定記録証明書と三角定規セットを参加記念として皆さんにお配りいたしました。



〈ご挨拶〉  
平素は当研究会に対し御高配を賜わり、厚くお礼申し上げます。  
8月に引き続き、愛知県主催の「ふるさと美農里体感事業」に当研究会も参加させて頂いた頂きました。  
300名を超す親子の方々が泥だらけになり、一生懸命レンコン掘りをされているお姿を拝見し、このような体験を通して多くの皆様に農業を知っていただき、食への関心を持っていただければと心より願います。  
会長 前田元弘



(勉強会会場写真)

